

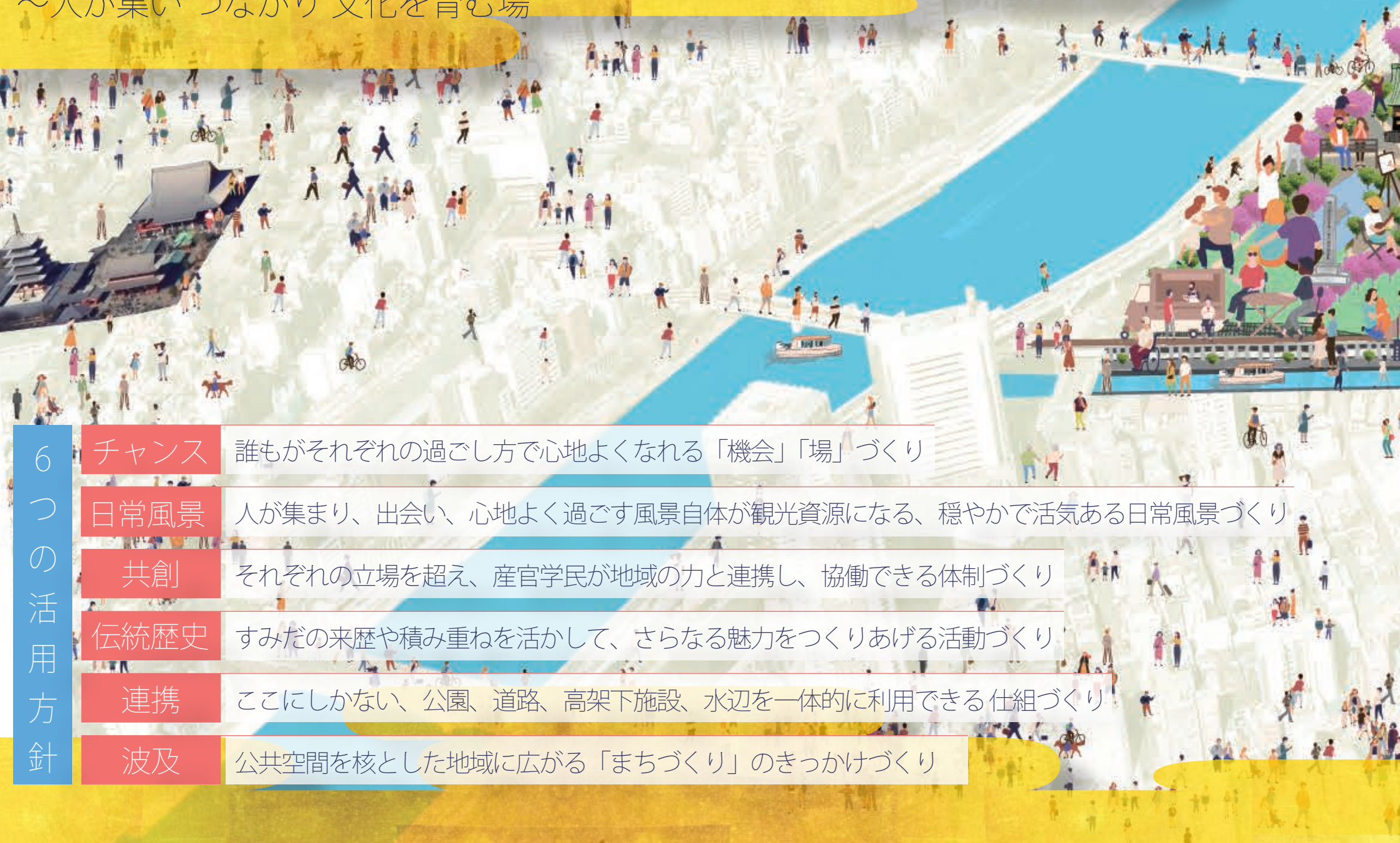
2020年春、すみだに
新しい「**居場所**」が
生まれる!?

「北十間川周辺公共空間の活用方針」



水と緑のサードプレイス

～人が集いつながり 文化を育む場



6
つ
の
活
用
方
針

チャンス 誰もがそれぞれの過ごし方で心地よくなる「機会」「場」づくり

日常風景 人が集まり、出会い、心地よく過ごす風景自体が観光資源になる、穏やかで活気ある日常風景づくり

共創 それぞれの立場を超え、産官学民が地域の力と連携し、協働できる体制づくり

伝統歴史 すみだの来歴や積み重ねを活かして、さらなる魅力をつくりあげる活動づくり

連携 ここにしかない、公園、道路、高架下施設、水辺を一体的に利用できる仕組づくり

波及 公共空間を核とした地域に広がる「まちづくり」のきっかけづくり



2020年春。

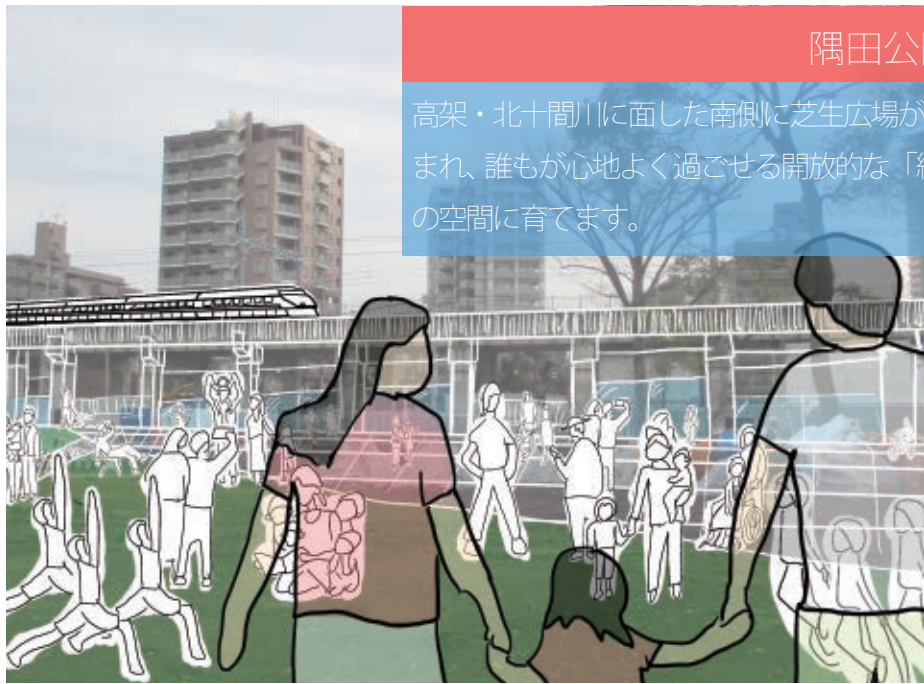
東京スカイツリーと浅草・浅草寺に挟まれた、わずか1.7kmのエリアに、川と道路・公園と鉄道高架下が一体となった空間が生まれます。

東京が誇る花街や、強烈な引力をもつ路地裏、本所・両国などの周辺文化地区との連続性などこのまちに溢れるローカルでディープな魅力と、そこに暮らす人たちの息遣いが融合することで、住む人も働く人も、この町を自然体で楽しみ、その生活の空気が、訪れた観光客をさらに魅了するでしょう。

そして、この空間は、地域への愛着を他者と共有できる居心地のよい場所となり、自宅でもない、職場でもない、心地よい「第三の居場所＝サードプレイス」が誕生します。そこで育まれた、新たな「すみだらしい」価値や文化は、二大観光地を結ぶ東西方向、そして向島地区や両国・本所地区の南北方向にも広がっていくでしょう。

隅田公園

高架・北十間川に面した南側に芝生広場が生まれ、誰もが心地よく過ごせる開放的な「緑」の空間に育てます。



コミュニティ道路

水辺と公園の一体感をつくるコミュニティ道路が生まれ、公園・高架下・北十間川が一体となる「つながる」空間に育てます。



画像はイメージです。

公共空間が生まれ変わる!

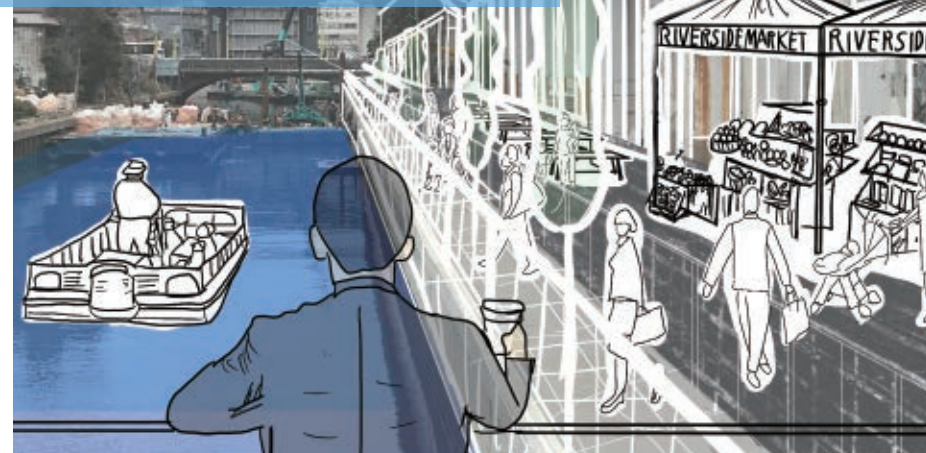


東武鉄道高架下

水辺と緑の公園の間に、人々を惹きつける商業施設等が生まれます。

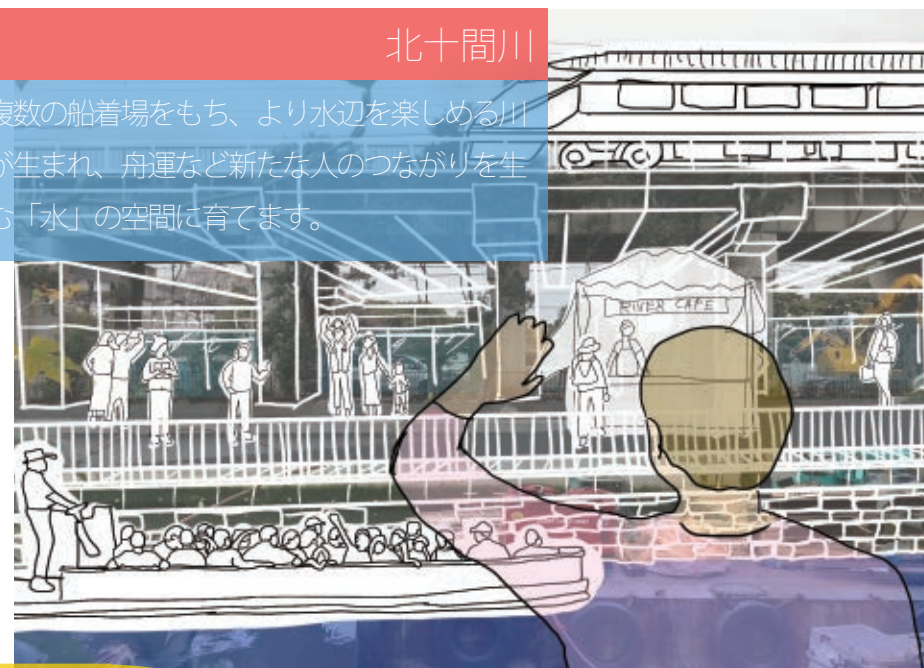
親水テラス

北十間川両岸に水辺を楽しめるテラスが生まれ、誰もがゆったりと過ごせる上質な「水」の空間に育てます。



北十間川

複数の船着場をもち、より水辺を楽しむ川が生まれ、舟運など新たな人のつながりを生む「水」の空間に育てます。



暮らす人

近所子育てママ

暮らす人

生まれも育ちも
生粋すみだ年配者

近所の子育てママ。子どもができたのを機に地域にはいる。休日には、夫と一緒に、隅田公園でピクニックを楽しんだり、子どもは特設の公園ベビーシッターさんに預け、ヨガ教室にも参加。新しくできた高架下のカフェでママ友との楽しい時間を過ごします。

生まれも育ちも生粋のすみだっ子。最近はじめたランニング、仲間と一緒に集まるのは隅田公園。今日は、船で日本橋にでもかけてみようかと、スマホで船の時間を調べてみたり。たまには夫婦でお出かけと、高架下のお店で仲良しお買い物デートも楽しめます。

新しい過ごし方



働く人

近隣
オフィス
ワーカー

訪れる人

まち歩きを楽しむ
アーバン
ツーリスト

近隣企業に勤務するオフィスワーカー。ちょっと早めに家を出た日は、公園のベンチで美味しいコーヒーを一杯。たまには気分を変え、川沿いのテラスで仕事をしたり、早めに帰れる日にはマルシェでお買い物。会社のサークル活動でやってるバンドの練習も、ルールを守ってやっています。

すみだに住んではないけど、すみだの街や人に興味津々のアーバンツーリスト。日本人だったり、外国人だったり。普通の観光客ははいっていかない細い路地に飛び込んでみたり、まるで暮らす人かのように、川沿いや公園で、ゆったりリラックスした時間もすごします。

が生まれる！



実現までのロードマップ

2019

2020

2021

公共空間
商業施設
OPEN

南側テラス
OPEN

ハード整備

北十間川 護岸・修景、コミュニティ道路、小梅橋架替、隅田公園、高架下施設 建設・テナント工事

親水テラス修景（南側）

活用

実証実験・実地体験

主催イベント・受け入れイベント

公共空間 マネジメント

市場サウンディング
調査①

市場サウンディング調査②

区による管理運営

管理

管理運営の課題整理、運営者募集要項作成

管理者募集・選定

民間活力導入に
よる管理運営開始

これからのまちづくりは、行政だけで行っているだけでは、素晴らしいまちは育ちません。そのためにも、産官学民連携が必要となります。

2018年度、整備後の利活用・管理運営を検討している北十間川水辺活用協議会は、対象者を部会メンバー以外にも広げた、総勢30名を超える参加によるワークショップを3日間、開催しました。行政・町会・商店会・民間事業者・各種団体・その他区内で様々な活動をしている方々などが同じテーブルに座り、それぞれの立場や役割を越えて、本パンフレットに掲載されている、未来のイメージについて話し合いました。2019年度からは、活用面では、テーブル上での検討のフェーズから、実証実験・実地体験のフェーズへと移行し、管理面では具体的な課題整理や今後の運営のルールづくりなどに取り組みます。さらに多くの様々なみなさんのご参加を期待しています。

新しい「居場所」をみんなでつくる



ワークショップにご参加いただいたみなさん

墨田区役所、本所吾妻橋商店会、吾妻橋一丁目町会、吾妻橋二丁目町会、吾妻橋三丁目町会、小梅一丁目町会、向島一丁目町会、リバーピア吾妻橋飲食店会、吾妻橋パトリア会、言問橋商店会、芝浦工業大学、（一財）墨田区観光協会、東武鉄道株式会社、すみだ川ものコト市、その他区内団体および個人、舟運関連事業者等

これらの活動に興味のある方、質問、ご意見をお持ちの方は、
墨田区役所 企画経営室 公共施設マネジメント担当（03-5608-1455）
までお問い合わせください



発行 墨田区、東武鉄道株式会社